

様

## 特別講座『私の良寛さん—その詩歌を味わう』のご案内

2019、12、15 TAC 代表 渡邊 晴雄

TAC 美術史学習会は、2013年に市民大学で開設された斎藤陽一先生による美術史講座を更に充実させ、所沢市民の文化レベル向上に貢献する事を目的として、2016年に設立されました。これまでに会員向けの美術史講座（印象派美術Ⅰ、20世紀美術等9講座）、に加え一般市民を対象とした美術講演会（吾妻まちづくりセンター主催で6回）を開催し、聴講者からは非常に解り易く、魅力的な講義であると、高く評価されて来ております。

斎藤先生は美術ジャーナリストで西洋美術史の研究者ですが、全国良寛会の会員でも居られ『良寛さんは生涯の趣味』として、良寛の詩歌に親しんで来られました。

今回その魅力と良寛の人間像を、3回の講座で、自在に語って頂ける事になりました。

折角の機会ですので是非、斎藤先生の魅力的な良寛講座を聴講されるよう、お勧めいたします。同好の知人、友人の方をもお誘い頂ければ幸いです。

### ◎ 主旨

- ・江戸時代末期の僧である良寛（1758～1831）は、生涯寺を持たず、住職にもならず、越後の草庵に住み、行乞行脚の生涯を送りました。 厳冬期、雪に埋もれた国上山、五合庵での暮らしは、厳しかったが、それは良寛が自ら選んだ生き方でした。
- ・厳しい生活の中から生まれた漢詩、和歌の数々は、良寛の生き方を反映し、魅力に溢れています。
- ・物に溢れた豊かさと便利さに慣れきった現代の私達にも、生きる事への貴重な示唆を与えてくれるでしょう。

### ◎ 日程と講座内容

時間：14.00～16.00

- ① 2月6日（木）【厳しい修行の日々—漢詩から】（新所沢公民館）
- ② 2月13日（木）【草庵・行乞の日々—漢詩・和歌から】（小手指公民館分館）
- ③ 2月20日（木）【村人・子供・貞心尼—和歌から】（小手指公民館分館）

### ◎ その他

参加費、申込み方法、定員数等については、チラシ、ポスターを参照してください。



雪の五合庵



良寛と貞心尼